

城南家保ニュース R1-11

熊本県城南家畜保健衛生所

〒868-0056 人吉市寺町 12-1

TEL 0966-22-3814 FAX 22-3617

メールアドレス jounankaho@pref.kumamoto.lg.jp

ホームページ <http://www.pref.kumamoto.jp/kahojounan>

沖縄県におけるCSF（豚熱）の発生について

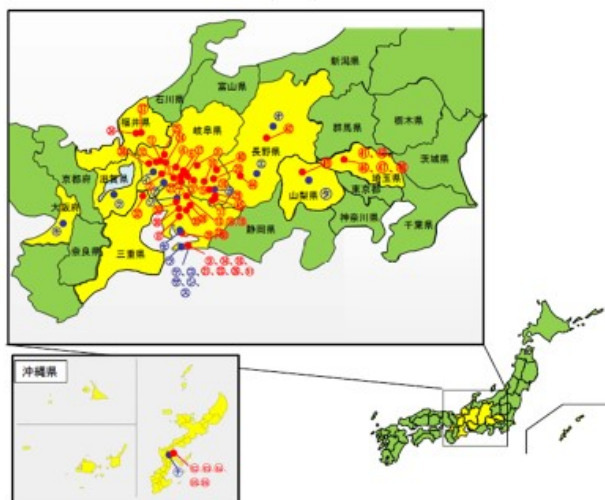
令和2年1月8日、沖縄県うるま市において国内52例目のCSF（豚熱）の発生が確認され、現在（令和2年2月3日時点）までに、5事例（6戸8農場）、1万頭を超える豚が殺処分されています。

沖縄県の発生において分離されたウイルスの遺伝子解析を行ったところ、岐阜県の野生イノシシから分離されたウイルスと最も近縁であったことから、本州由来のウイルスが沖縄県の農場に侵入し、発生に至ったものと考えられています。

今回の発生を受けて、当所において1月10日に養豚農家、市町村、畜産関係団体、球磨及び芦北地域振興局を招集し、CSF緊急防疫対策会議を開催しました。本会議では、国内52～54例目の発生状況、飼養衛生管理基準の改正等の説明を行い、管内における防疫意識の向上を図りました。

沖縄県での発生から、今後どこでCSFの発生が起きてもおかしくない状況と考えられます。畜産関係者が家畜伝染病に対して共通の認識を持ち、高い防疫レベルを維持し続けることが重要となります。今後とも防疫対策への御理解と御協力について、よろしくお願い致します。

CSF（豚熱）発生状況



赤字：発生農場、青字：関連農場



CSF 緊急防疫対策会議

令和元年度伝達講習会が開催されました

令和2年1月31日に熊本県庁において、令和元年度家畜衛生伝達講習会が開催されました。本講習会は、農林水産省が開催する家畜講習会（基本講習会、豚疾病特殊講習会、鶏疾病特殊講習会等、全6講習会）及び自主企画研修（家畜保健衛生所の獣医師職員が自身で企画し受講する研修）について、受講者が研修内容を伝達することで、県内の家畜衛生関係者に知識を共有し、県内の畜産振興へ資する目的で開催されています。当家保からは、田中技師が『牛白血病』及び『農業共済制度』、吉田主任技師が『牛の繁殖障害』、高木主任技師が『豚の受精卵移植』について、各自が受講した研修の内容を報告しました。このほか、高病原性鳥インフルエンザ、CSF、豚の管理技術等の話題提供があり、幅広い知識が多数の関係者に共有されました。それらの内容を日々の業務に活用し、熊本県の畜産がより繁栄するよう努めていく次第です。



牛の繁殖障害研修



豚の非外科受精卵移植

近隣諸国における悪性伝染病発生情報

病名	型	発生地（国）	畜種	発生年月日
口蹄疫	O型	新疆ウイグル自治区	牛	令和元年(2019年)12月30日
		ロシア	牛	令和2年(2020年)1月27日
高病原性鳥インフルエンザ	H5N2	台湾（3件）	地鶏、肉用アヒル、ガチョウ、七面鳥	令和2年(2020年)1月3日 ～令和2年(2020年)1月20日
	H5N5	台湾（3件）	地鶏、七面鳥	令和2年(2020年)1月6日 ～令和2年(2020年)1月22日
ASF		韓国	野生イノシシ	令和2年(2020年)1月28日 ～令和2年(2020年)1月29日 令和2年(2020年)2月3日現在

編集後記 (F.T)

新型コロナウイルスによる肺炎に関する内容が毎日報道されています。人の感染症ですので、報道も大々的にされており、国内におけるまん延が危惧される状況です。私自身、普段の業務内容が家畜の伝染病なので、つい家畜防疫の目線で考えてしまいます。水際防疫の重要性、異状の早期発見、消毒の徹底等々、家畜防疫に相通するものが多いです。自身ないし家畜の健康を守るために、何ができるか、何をすべきか。根幹は似通っている気がします。新型コロナウイルス、CSF、どちらも終息することを切に願うばかりです。